

## 市場使用料あり方検討委員会報告について

## 市場使用料あり方検討委員会の概要

## 1 設置目的

東京都中央卸売市場の市場使用料のあり方について、専門的な調査、検討を行うことを目的として平成21年6月に設置

## 2 委員の構成

## ○ 本委員会（19名）

委員長：横山 彰（中央大学 総合政策学部 教授）

学識経験者 (4名)	大学教授 (3名)
	公認会計士 (1名)
業界代表者 (15名)	卸売業者団体代表 (4名)
	仲卸業者団体代表 (4名)
	関連事業者団体代表 (1名)
	売買参加者団体代表等 (6名)

## ○ ワーキンググループ

委員会において検討すべき事項につき、細目の調査研究等を行うため、委員会の下部組織として学識経験者の委員で構成

## 3 開催状況

本委員会 (4回開催)	平成21年度 (2回開催)
	平成23年度 (1回開催)
	平成24年度 (1回開催)
ワーキンググループ (11回開催)	平成21年度 (2回開催)
	平成22年度 (4回開催)
	平成23年度 (5回開催)

## 報告(平成24年5月)の主な内容

## 1 現行の使用料体系についての考察

- 全市場の経費を総括原価で全市場の業者が等しく負担する考え方は、長い期間をかけて定着
- 業者負担が大幅に変動する使用料体系の導入は、中・長期的視点に立った検討が必要
- ただし、今後は都民の安全・安心への期待等に応えるため卸売市場の機能強化が重要であり、機能強化に要する費用の取扱いについては、早急な議論が必要

## 2 卸売市場の機能強化と市場使用料における対応

## &lt;基本的な考え方&gt;

- 新たな機能を付加する施設については、受益と負担の明確化や負担の公平を図るため、現行使用料体系に新たな機能を付加することによってかかる経費を加味した新たな使用料体系を検討する。
- それ以外の施設については、当面、現行使用料体系を維持する。
- 新使用料体系の具体的な検討時は、市場業者の経営状況等に十分に配慮する。

## 【新しい使用料体系のイメージ】



現行使用料

新たな機能を付加することによって掛かる経費